

## (シラバス No.8)(専門科目(共通領域))

科目名	カリキュラムデザイン特論	単位数	2単位	科目コード	A1
	Advanced Seminar on Curriculum Design	形態	選択		
		担当教員	仲久徳	教職	-
<b>【授業概要】</b>					
<p>本科目はカリキュラムに示された教育目標から単元や授業をデザインし、学習効果を中心にそれぞれの単元や授業を設計するための知識と技能の習得を目標とする。カリキュラムに関わる諸領域における研究知見から、授業設計、学習者分析、学習効果の評価についての知識・技能の獲得を目指す。</p>					
<b>【授業の到達目標】</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムデザインに関わる研究の理論的背景について理解を深める。</li> <li>・学習の様子から学習者（児童および生徒、学生）の学習過程の分析手法について検討する。</li> </ul>					
<b>【授業計画】</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業ガイダンス</li> <li>2. 単元計画と授業デザインの発表</li> <li>3. 学習環境の枠組み</li> <li>4. 学習環境デザインの原則</li> <li>5. 学習者中心の授業分析（1）国内における実践例の分析</li> <li>6. 学習者中心の授業分析（2）海外における実践例の分析</li> <li>7. 学習者中心の授業分析（3）授業分析のまとめ</li> <li>8. 単元計画（1）基礎</li> <li>9. 単元計画（2）演習</li> <li>10. 単元計画（3）発表</li> <li>11. 授業デザイン（1）基礎</li> <li>12. 授業デザイン（2）中間発表</li> <li>13. 授業デザイン（3）演習</li> <li>14. 授業デザイン（4）最終発表</li> <li>15. 総括 授業の振り返りとまとめ</li> </ol>					
<b>【評価方法】</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善のための評価ができるようになる。具体的には学習効果を中心に考え、授業プロセス分析ができる。（授業内課題 50%）</li> <li>・カリキュラムに基づき、単元・授業をデザインできる。（科目修得試験レポート 50%）</li> </ul>					
<b>【教科書】</b>					
テキストは授業内で適宜配布等指示します。					
<b>【参考図書】</b>					
松尾知明『教育課程・方法論』（学文社、2014）					
Robert M. Gagne 他著『Principles of Instructional Design』（Wadsworth, 2004）					
John D. Bransford 他編『How People Learn』（National Academy Press, 2000）					
稲垣佳世子・波多野誼余夫著『人はいかに学ぶか』（中公新書、1989）					
学習指導要領及び解説（小学校・中学校・高等学校）：文部科学省					